

## 8. 橘 岳

### 令和元年台風 19 号の高齢者避難の検討

#### 要旨

首都直下型地震が今後 30 年で発生する確率が 70%と予想されているように、首都圏は災害対策を急ピッチで進めている。筆者は、危機管理学部で、法律や災害マネジメント、航空機事故、消防救急など人命に関わることについて学んできたことから、こうしたことを、周りの人にも伝えていきたいと考えた。

今回の研究では、実際に筆者の祖父母の協力を得て、今後起こるとされている未来の災害に役立てるための検討を進める。研究の流れとしては、令和元年 10 月 11 日から 18 日にかけて発生した台風 19 号の際の埼玉県上尾市の被害状況を分析し、同市に住んでいる祖父母の避難開始から避難完了までの検証を行う。時系列に沿って整理を行い、行政が被害状況に即した対応ができていたのか、そこから見えてくる逃げ遅れ対策について検討を行う。